

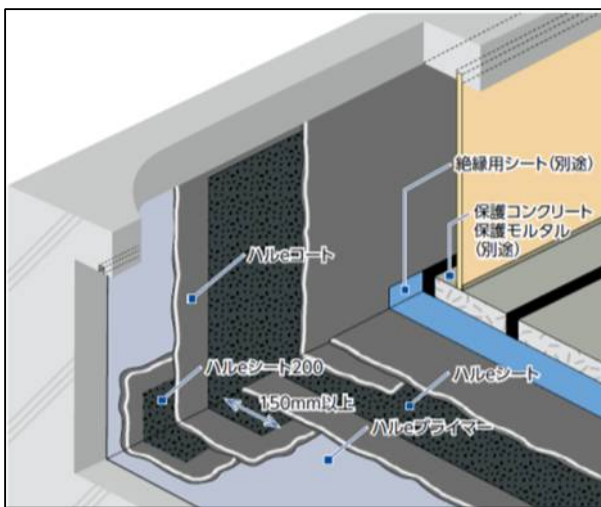


【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-36/2024年7月22日
【技術の名称】	環境対応型改質アスファルト防水常温工法 「ハル e コート複合防水」
【依頼者（審査証明取得者）】	株式会社 イーテック

【技術概要】

ポリマー改質アスファルトエマルジョンに硬化剤を配合したJIS A 6021に適合する塗膜防水材と、改質アスファルトルーフィングシート（合成繊維補強布入り）を積層し、多層構造からなる耐久性を有した水性完全冷工法の防水工法である。

屋根保護防水密着工法 E-30 (A)



工程	材料	使用量
		(kg/㎡)
1	ハル e プライマー	0. 2
2	ハル e コート/ ハル e シート流し張り	1. 5
3	ハル e コート	1. 5
4	絶縁シート	
5	保護コンクリート	

【開発の趣旨】

在来のアスファルト防水及びトーチ工法は、以下のような問題がある。

- (1) 火災・火傷・煙発生・臭気等の安全・衛生・環境上の問題
- (2) ルーフィング積層数に応じた防水層の重量増の問題
- (3) アスファルト防水の積層数の多さ及び天候による影響を受け易く作業効率の問題

そこで本工法は、水系ポリマーで改質した改質アスファルトエマルジョンを使用して、常温で施工可能な工法とし、品質向上による工程数の削減・軽量化を図り、更に作業者及び周辺環境への影響を軽減させることを目的として開発を行った。

【開発目標および審査証明結果】

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 下記の特徴を有する防水層が開発されたものと判断される。
 - ① アスファルト防水及びトーチ工法と同等の防水性能を有する。
 - ② アスファルト防水及びトーチ工法と比べ、防水層の重量が軽減されている。
 - ③ アスファルト防水及びトーチ工法と比べ、作業効率が向上している。
- (2) 施工時に火気や揮発性溶剤を使用しないことにより、作業環境の改善が図られたものと判断される。
 - ① アスファルト防水及びトーチ工法と比べ、施工時における炭酸ガス・蒸発溶剤の発生量が削減されている。
 - ② アスファルト防水と比べ、作業者への作業環境の改善及び近隣環境保全が可能である。

【本技術の問合わせ先】

株式会社イーテック 第1事業部
防水材営業部
TEL : 03-6218-3842
FAX : 03-6218-3843